

～ 研究に関するお知らせ ～

横浜医療センター循環器内科では、下記の研究を行います。

「心不全入院患者に対するフレイル評価を活用した言語聴覚士による早期介入体制の構築」

この研究は、条件を満たす患者さん全員を対象といたします。情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、最終ページに記載のお問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

■ 研究の対象となる患者さん

2025 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までに当院循環器内科で入院した心不全患者さん

■ 利用する試料・情報の種類

上記の対象期間中に、診療録に記録された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報 は厳重に保護した状態で行います。

■ 研究の概要

• 研究の目的及び意義

心不全の患者さんでは、加齢や病気の影響により体力や筋力が低下しやすく、食事や飲み込み（嚥下）の機能が低下することがあります。嚥下機能の低下は、誤嚥性肺炎や低栄養の原因となるだけでなく、心不全治療に必要なお薬を飲み続けることが難しくなる可能性があります。当院では、心不全患者さんに対して多職種によるカンファレンスを実施しています。本研究では、診療録および心不全カンファレンスシートに記録された情報をもとに、**Clinical Frailty Scale (CFS)** というフレイル（虚弱）の評価指標を用いて、飲み込みの機能が低下するリスクの高い患者さんを早期に抽出し、言語聴覚士（ST）による評価につなげることを目的としています。

• 研究の期間

倫理審査委員会承認日～2027 年 3 月 31 日

• 研究の方法

2025 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までの期間に、横浜医療センターに心不全で入院された患者さんを対象とします。診療録および心不全カンファレンスシートに記録された情報を用いて調査します。なお、本研究のために新たな検査や治療、アンケート等を実施することはありません。

- 外部への情報等の提供、個人情報等の取り扱い

この研究で得られた情報は、患者さんを特定できる情報（氏名、住所、電話番号等）は記載せず、本研究固有の症例番号（症例毎に採番）にて管理します。症例番号とカルテ患者 ID 等の対応表データを別途作成します。作成する対応表データはパスワード保護の上、研究責任者が厳重に管理します。

この研究の成績をまとめて学会発表や学術論文として公表されることもありますが、いずれの場合も患者さんの名前等の個人的な情報は一切公表されません。また、この研究で得られたデータが、この研究の目的以外に使用されることはありません。

- 研究の資金源

本研究は、資金を要しない研究です。

- 利益相反に関する状況

本研究における、開示すべき利益相反は特にありません。

※ 臨床研究における利益相反とは

「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

■ 研究の実施体制

研究代表者：横浜医療センター 看護部（CCU）副看護師長 坂 貴博

研究分担者：横浜医療センター 統括診療部 診療看護師 村山 純一

■ ご質問等について

本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

<お問い合わせ先>

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター

CCU 看護師 坂貴博

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2

電話 045(851)2621（代表）※平日 8：30 ～17：15